

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：健康保険課

シート No.：16

作成日：2026.5/7

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	法改正により県後期高齢者医療広域連合が行う高齢者保健事業は介護予防と一体的に行うことが示されたため、当市では令和5年度より、後期高齢者医療の保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合から委託を受けて事業を開始しています。 実施にあたっては、保険者との調整を行う健康保険課と、事業内容を計画し実施する保健推進課、高齢福祉課が連携しています。市が抱える健康課題を、企画調整を行う医療専門職が分析し、既にリスクが高い状態にある方へ働きかけるハイリスクアプローチと、集団全体に働きかけて将来的な効果を期待するポピュレーションアプローチにおいて、それぞれ実施内容を選択し行うことで、健康寿命の延伸や重症化予防へ繋げ、増大する医療費の抑制を目的とします。	高齢者の身体的精神的及び社会的な特性を踏まえ、保健事業と介護予防を効果的かつ効率的で、高齢者一人一人の特性に応じた保健事業と介護予防を一体的におこない、健康寿命をのばすことを目指します。
	施策	1 保健		
	施策内容	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		
	その他、拠法令及び分野別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律		
事務事業名		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	ハイリスクアプローチ（R8） 【保健推進課】	2年間医療・健診等の受診歴がない健康状態が不明な高齢者の状態把握及び必要なサービスへの接続	対象者数（人）	80	—	154 千円	千円
②	ポピュレーションアプローチ（R8・9・10） 【高齢福祉課】	介護予防教室における健康教育、健康相談、フレイル状態の把握	参加者数（人）	2,100	2,100	188 千円	千円
③						千円	千円
④						千円	千円
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①・②	1人あたりの医療費	広域連合のデータヘルス計画において、医療費の増加を問題と捉え、本指標の減少により、目的を達成すると考えます。	—	前年度比減		令和9年度
						—

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	